

発達支援の取り組み経過

平成16年度～ 保育現場から、行動面で課題のあるこどもたちへの支援方法に悩む声があがる
⇒**現状把握**を実施（幼稚園教諭、保育所保育士、保護者へのニーズ調査）

平成19年度～

- **早期発見**
- **早期支援**
- **一貫した支援**

幼保小連携発達支援会議を設置し、支援体制の検討

- ① 幼児健診の改善及び健診後のあそびの教室の導入
- ② 幼稚園・保育所等への専門職による巡回相談の導入
（関わり方の助言や幼保職員の体制の助言）
- ③ 療育施設の充実
- ④ 発達支援ファイルや個別支援計画など支援をつなぐしくみの構築 など

平成23年度

舞鶴市が厚労省の発達障害支援のモデル都市の指定を受け（全国で5市町）、障害・発達に課題のある成人の生活・就労支援も含め、ライフサイクルを見通した支援の検討

平成31年度

舞鶴市乳幼児教育センターの設置

令和6年度

舞鶴市こども家庭センターの開設

1 舞鶴市発達支援体制検討会議の開催について

医療

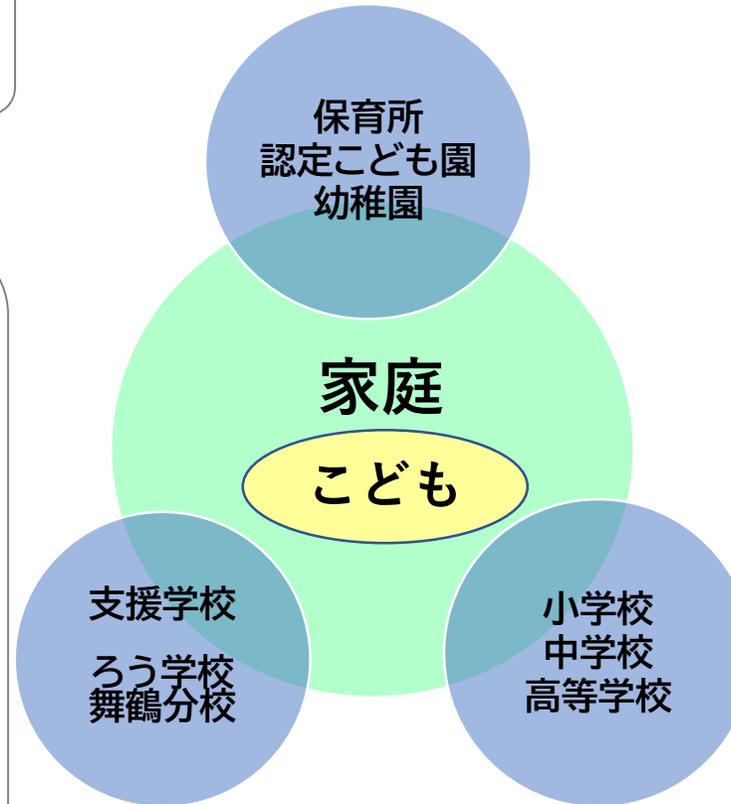
- ◆ 京都府立舞鶴こども療育センター
 - ・小児科・整形外科外来
 - ・理学・作業・言語・心理療法

保育・教育

- ◆ 教育支援委員会
 - ・教育相談
- ◆ 通級指導教室
 - ・社会性、学習面等の指導支援
- ◆ 京都府立舞鶴支援学校
(トータルサポートセンター)
 - ・巡回教育相談
- ◆ 乳幼児教育センター
 - ・にじいろ個別支援システム
(園への巡回支援)

発達支援体制

早期発見・早期支援・一貫した支援



福祉

- ◆ 乳幼児教育センター
 - ・遊びの教室（親子支援）
- ◆ 舞鶴こども発達支援施設さくらんぼ園
 - ・児童発達支援(0歳～6歳)
 - ・保育所等訪問支援
 - ・計画相談支援
- ◆ 京都府立舞鶴こども療育センター
 - ・医療型児童発達支援
 - ・保育所等訪問支援
 - ・計画相談支援
 - ・短期入所
- ◆ 放課後等デイサービス事業所(市内9か所)
 - ・生活に必要なスキルの習得(6歳～18歳)
 - ・計画相談支援

保健

- ◆ こども家庭センター
 - ・乳幼児健康診査
 - ・健診後の遊びの教室・発達相談など

舞鶴市の現状

▶ 出生数は減少しているが、支援を要するこどもは増加

		平成29年度	令和5年度	
保育所・認定こども園・幼稚園で支援が必要と感じているこどもの数（人）		204	227	↑
通級指導教室の学級数	小学校（学級）	6	9	↑
	中学校（学級）	2	4	↑
特別支援学級の学級数	小学校（学級）	26	41	↑
	中学校（学級）	16	17	↑
教育相談の件数（件数）		102	173	↑
支援学校小学部 在籍者数（人）		39	75	↑

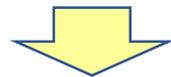
※通級指導教室 … 通常学級に在籍していることばや発達に課題のある子どもが、通いで個別に発音・読み書き・社会性などを学習する場

※教育相談 … 子どもに合った就学先の助言など心身に障害などがある子どもの発達や就学について相談できる場

▶ 障害や発達の特性の多様化、家庭環境の複雑・多様化

現行の発達支援体制の課題

- ▶ 市の社会資源・強みを生かした支援体制の再構築が必要
 - 主な支援機関である「京都府立舞鶴こども療育センター」「舞鶴こども発達支援施設 さくらんぼ園」に待機が生じている。
 - 支援機関や支援内容が多岐に渡り、お互いの取組を十分理解できていない
 - 支援機関同士のつながりが不十分
- ▶ 支援内容の点検・評価が必要
 - 障害や発達の特性および家庭環境の多様化に応じた適切な支援となっているか
- ▶ 発達支援体制を強化する国の方針（5歳児健診の導入・児童発達支援センター設置等）を踏まえた見直しが必要



保健、医療、福祉、教育の関係機関が、これらの課題を共通認識とし、総動員で解決に向けて取り組むことが必要

1 舞鶴市発達支援体制検討会議の開催について

舞鶴市発達支援体制検討会議

(計10名)

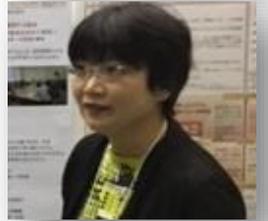
小谷 裕実 氏 (京都教育大学教育学部教授兼学びサポート室室長(小児神経専門医))

※現在の本市の発達支援体制の構築に寄与。発達障害、特別支援教育の研究に精通



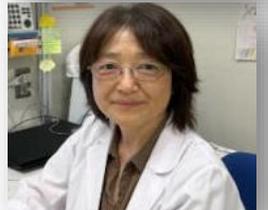
北野 幸子 氏 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授 (乳幼児教育学))

※乳幼児教育の質向上のための研修の講師、乳幼児教育ビジョン策定、乳幼児教育センター運営会議会長として、本市の乳幼児教育の推進体制構築に寄与。乳幼児の教育内容や方法、保育者の専門性などの研究に精通



四方 あかね 氏 (京都府立舞鶴こども療育センター 副所長 (小児科医))

※18歳までのこどもの精神・運動発達の診療に長年携わり、こどもの発達特性や保護者の悩みに応じた関わり方の助言及びセラピーや関係機関と連携してこどもの発達を支援。本市教育委員会委員



後野 文雄 氏(国立舞鶴工業高等専門学校修学支援室特命教授(教育アドバイザー))

※11年間通級指導教室を担当、白糸中学校長を歴任。本市教育委員会特別支援教育スーパーバイザー



ほか、**京都府中丹東保健所、京都府立舞鶴支援学校、舞鶴市社会福祉協議会、両丹私立幼稚園協会、舞鶴市民間保育園連盟、舞鶴市特別支援教育研究会**

議論のテーマ

『子どもの豊かな育ちを支える環境づくり』

安心を届ける

- ・ 保護者等への気づき、早期発見と、寄り添いによる支援の充実
- ・ ニーズの把握とサービスの提供

3つの視点

自分らしく生きる

- ・ こどもが将来幸せな生活が送れ、自分らしく生きていくために、ライフステージを見通した支援

支えあい

- ・ 舞鶴の地域資源を最大限に生かし、適切な役割分担による連携支援体制の再構築

巡回支援

5歳児健診

児童発達支援
センター

発達相談
教育相談

移行支援

理解促進

検討会議の
継続開催

1 舞鶴市発達支援体制検討会議の開催について

第1回 会議

- ▶ 日時：令和6年10月22日(火) 14時～16時
- ▶ 場所：中総合会館 4階 401会議室
- ▶ 内容：
 - ・最近の障害児支援、発達支援に係る動向
 - ・本市の発達支援に係る取り組みの現状及び評価（課題の共有）
 - ・その他



※会議は今年度全4回を予定しています。

問い合わせ先					
事業名	担当課	担当者	電話番号	FAX番号	メールアドレス
舞鶴市発達支援体制検討会議の開催について	こども家庭しあわせ課	瀬野	68-9155	66-2140	kodomo-k@city.maizuru.lg.jp